

留学だより✈

Vol.2 Sep

皆さんこんにちは。先月に引き続き、アメリカ留学の様子をお届けする14期の大里です。行事週間はいかがでしたか？私もアーカイブで十分楽しませてもらいました。

9月からついに学校スタート！ということで、学校生活に焦点を当ててお話していこうと思います。

【Brandon High School】

全校生徒は800人弱で、4学年が通う学校。校舎は二階建て、教室は50個程あり、生徒が先生のいる教室に移動します。でも50人も先生を見かけたことがないのは不思議なものです。それはさておきプール、ジム、カフェテリア、フットボール・サッカーのフィールド、テニスコート、中庭（光庭とはまた違い、緑豊かで素敵）など、施設も充実しています。小石川の校舎で恋しいことと言えば、色々と充実した理科系の教室、雑多な物研、落書きで溢れた黒板、安い自販機、年季が入って薄汚れた壁、窓から見下ろす光庭などなど。

- 7:20 1st Chemistry
- 8:25 2nd English
- 9:30 3rd Civics
- 10:35 4th Sociology
- 11:05 Lunch
- 11:35 4th Sociology
- 12:10 5th Trigonometry
- 13:15 6th Yearbook



朝は日が昇る前に家を出て、家族に車で送ってもらいます。各授業1時間で、休み時間は5分間。学校も広いもので、教室移動で精一杯です。そして上のスケジュールを月曜日から金曜日まで繰り返します。

なぜこんなにも始業が早いのかを家族に聞くと、バスの運転手の都合だそうです。地域の小学校、中学校、高校全てを地域のスクールバスが巡るため、それぞれで始業時間が異なり、順に9時、8時、7時。

朝には太陽の光を浴びたいものです。そしてミシガンの日の出前、なんとも冬が恐ろしい。

ランチは4時限の途中でカフェテリアに行き、友達と食べます。サラダ、ピザ、タコス、フライ、オニオンリング、ヨーグルト、アイス、フルーツと期待以上の豊富さでした。食の健康は自分に懸かっている訳です。嬉しいような、辛いような。



←学校に持って行く荷物はたったのこれだけ。リュックやトートバックを持っていくと荷物検査の長蛇の列に並ばなくてはならないため、ノート、本、パソコン、ペンケースをそのまま持っていきます。これも全て銃規制のため。教室にもバックは持って行かず、全てロッカーに収納します。カメラに顔が写らないからと犯罪防止のため帽子も被れません。理由がアメリカン。

【授業について】



まず、教育のスタンスが根本から違うように感じます。授業中にスナックを食べてよし、いくら先生に意見提示してもウェルカム、授業の余り時間はみんなで遊びか宿題の時間。凄くラフです。ひとクラス20人前後で教科の幅も広いです。社会科の授業では、クラス全体での話し合いをベースに学習が進みます。知識の詰め込みというよりも、自分の身の回りから社会との関わりを考え、自分中心の視点で話します。その分色々な人の話を聞くことができ非常に興味深い！ただ、理数系の授業の内容は小石川の方がかなり進んでいます。(もちろん SSH ですもの。) 復習をしている感じです。

【イベント好きなアメリカ人】



学校が始まってもうすぐ1ヶ月というところですが、濃く、楽しく、騒がしく、刺激ばかりの日々でした。ここでは、イベントについて少し話そうと思います。

ホームカミングでは、前夜祭としてミニイベントやフットボールのゲームが行われました。学校のイメージカラーが青と白なので青い服を着てペイントをし、皆で応援します。チアリーディングやマーチングも特別なパフォーマンスがありました。ホームカミングダンスでは、皆着飾って学校のカフェテリアで踊りました。人それぞれ素敵なアウトフィットで、中にはスーツを着た女の子もいました。歌って、踊って、ジャンプして。言語なんて必要ありません。そしてなんとびっくり、DJはまさかの先生。選曲については言及しないでおきます。

フットボールのゲームは毎週金曜日に行われます。ホームの時は無料で、毎回テーマがあります。(NEON, USA, BLACK OUT, BRANDON BLUE など) それらに従って、ドレスアップしたりペイントをしたりします。チアリーダーと一緒に学校オリジナルの曲や掛け声で応援します。

Powder Puff では、女の子がフットボールをプレイし、男の子がチアリーダーになります。フィールド上のプレイヤー達も、写真を撮る生徒も、場を盛り上げるチアリーダーもマーチングも、声と体と表情で応援する観客席も、皆心を躍らせるその場の一体感は半端じゃありません。(ちなみに私は Yearbook 用にカメラを持ち、体育祭の写真班みたいなことをしています。これがなんとも楽しいのです。)



Sprit Week では、月曜日から金曜日まで毎日異なるテーマがありました。ラベンダーデイ、ストーンデイ、パジャマデイ、Adam Sandler デイ、Brandon Blue デイ、それらのテーマに合った服装で登校します。パジャマデイには、言葉通り皆パジャマで登校し、授業を受けます。先生も例外じゃありません。Adam Sandler、誰それ? と思った方、ぜひ調べてみてください。

【冬が近づいてきました】



毎晩この夜空を家の庭から望むことができます。庭に寝転んだら、そのままいつまでも眺めていられそうです。月に対して明るすぎるといった感想を持ったのもこれが初めてです。

ジュピターが数十年の中で最も近づいた夜には、Dad が本格的な望遠鏡を出してくれて、一緒に観察をしました。模様まで鮮明に見ることができて、それはそれはもう感動ものです。ジュピターって動くのが速

いのです。30 秒もしないうちに、望遠鏡の視野から消えていきます。そのおかげで、望遠鏡の使い方を覚えました。

冬になると空気も澄みより美しい星空となりそうですが、外で寝るなど凍死するのでおススメはしないよ、と。5 分でも外に立っていると危険だから学校が休みになる程、冬の寒さは侮れないようです。もう既に怖い。先日なんと、朝登校時の気温が 0.5 度という恐ろしい寒さに震え上がりました。

【ニュアンス英語】

留学の大きな難関であり、大きな学びでもあるのがそう、英語。伝わらなかつたり聞き取れなかつたりすることも当たり前にあります。ですが、その苦しみよりも生の英語を聞くことのできる喜びは計り知れないものです。そこで、ここでは日常会話でリアルに使われている英語を少し紹介したいと思います。

-literally [That was literally disgusting.]

マジで、本当に、というニュアンス。皆 literally よく使います。

-though [She doesn't like this movie. I think it's funny, though.]

～だけどね。付け足して言います。

-is like, was like [I was like "Oh my goodness!" / She's like "Give me more food!"]

～みたい。状況を説明する時やディテールを含ませたい時に言います。本当によく使う。

-thingy [I don't know how it's called, but the thingy that you've wanted for your birthday...]

～みたいなもの。Thing よりも曖昧な時に使います。

-dude [Dude! Are you judging me?!]

ちょっと！という感じで使います。仲良い人との会話です。

-stuff [Did you grab all your stuffs?]

食べ物、荷物、ワーク、何を指しても使えます。誠に便利。

-this way, that way [You fold this way, not that way.]

こっち側、あっち側、という風に使います。ちなみにこの例文は折り紙を教える時によく言います。

-be supposed to [What are we supposed to do?]

例文は、授業中何をするかよく分からない時、友達への聞き方の一つ。

-so that [I drink coffee so that I don't fall asleep.]

教科書では習うものの、使い所がよく分からないこれ。実はかなり便利です。

-I don't think S can [I don't think I can win this game.]

I think I can't よりもこちらでいうことの方が多く感じます。

-probably/definitely [I probably can go with you. /I would say, definitely no!]

多分ね、/絶対！というニュアンス。定形なのでは、という程によく言います。

-for real, for sure [I got a diamond ring. For real?]

本当に、本物の、ガチの、というニュアンス。

-be expecting, dying, finishing, having, etc. [I'm finishing this yogurt.]

日本語の感覚から離れた言い方（個人の意見）。このヨーグルト食べきるつもり、という感じ。

ここまで読んでくださりありがとうございました。更新が遅くなったこと、反省しております。留学が始まってからもう早2ヶ月が経ちますが、残り8ヶ月が長くも短くも感じられ、寂しくも楽しくもあるというのが正直な気持ちです。刺激ばかりの1ヶ月を経て、この2ヶ月目でそれが日常となりました。日常ほどあっという間に過ぎてしまうものはないということに焦りを感じつつ、この留学だよりも焦りを感じつつ。

さて、今回はハロウィン関連のお話をしようと思います。お楽しみに！